

農大二高創立50周年

昭和37年に高崎市高松町の歩兵第15連隊跡地（旧高崎市立経済大学）の仮校舎で開校した農大二高。それから半世紀の間、「文武両道、そして人間力の向上」を学校目標に多くの関係者が力を尽くし、生徒たちは各方面で目覚ましい活躍を見せてきました。

そして平成23年。創立50周年を記念して、式典・祝賀会・講演会などの行事を盛大に開催して、あらたな歴史がスタートしました。特集では、これらの記念行事をご紹介します。

記念式典

平成23年7月2日
農大二高武揚ホール

創立50周年記念式典は、東京農業大学、群馬県、高崎市などから多くのご来賓をお招きして、武揚ホールにて行われました。



体育館ではブラスバンドによるアトラクションも。



祝賀会

平成23年7月2日
ホテルメトロポリタン高崎

記念式典後、市内のホテルにおいてご来賓、教職員、後援会、保護者会、同窓会などの関係者279名が参加して、祝賀会が開催されました。



農大二高創立50周年記念講演会「試練は人を磨く」

講師：元読売巨人軍投手 桑田真澄氏

平成23年11月15日
群馬音楽センター

元読売巨人軍投手の桑田真澄氏を講師に招き、「試練は人を磨く」を演題に講演会が行われ、全校生徒が桑田氏の話に耳を傾けました。

高校野球やプロ野球界で華々しく活躍してきた桑田氏ですが、講演では「多くの苦難を乗り越え自らを磨いてきた」と語り、生徒たちの希望に満ちた将来に向けて、あなたかいエールを送っていただきました。質疑のコーナーでは生徒からも積極的に質問があり、夢を実現してきた桑田氏から多くのことを学んだ様子でした。



講演の途中、選ばれた生徒にサイン色紙が贈られた。また、現役時代のユニフォームも登場して、生徒が着て客席を回るなどした。